

第2回 鳥取大学工学研究科中部地区出前技術講演会

共 催：鳥取大学振興協力会 後 援：倉吉商工会議所

日 時：平成23年2月2日（水）16：30～17：30

会 場：ホテルセントパレス倉吉（倉吉市上井町 JR 倉吉駅前）

聴講無料

16：30～17：30 挨拶・講演

■ 今なぜ次世代不揮発性メモリが必要か？ - 抵抗変化メモリ ReRAM の研究開発 -

情報エレクトロニクス専攻 電気電子工学講座 木下 健太郎 助教

【講演概要】

フラッシュメモリが微細化の限界を迎え、その代替メモリの出現が待ち望まれる。また、ランダムアクセスメモリ (RAM) の不揮発化による計算機の高速、低消費電力化も急務である。NiO 等の遷移金属酸化物は電圧の印加により可逆的かつ劇的な抵抗変化を示すことが知られている。この性質をメモリ素子に利用することで優れた不揮発性メモリ素子の実現が可能であり、ReRAM (ResistiveRAM) と呼ばれる。本講演では次世代メモリが必要とされる背景と ReRAM の研究経過について紹介する。

■ 山陰道の開通に伴う沿線地域への影響と活性化方策について

社会基盤工学専攻 社会経営工学講座 谷本 圭志 教授

【講演概要】

山陰道の開通により人々の移動が便利になる反面、国道9号線の交通量の減少に伴う商工業関係の売り上げの減少などが懸念される。本講演では、山陰道の開通前後で人々の行動パターンがどのように変わるのかについて、琴浦町民を対象として実施したアンケート結果を示すとともに、琴浦町における活性化策について報告する。

鳥取大学 研究・国際協力部 社会貢献室 宛

ファクシミリ：0857-31-6708

E-mail: kyoryokukai@adm.tottori-u.ac.jp

電話：0857-31-6777

第2回鳥取大学工学研究科中部地区出前技術講演会 参加申込書

事業所・団体名

参加者名

役職名

連絡先 (TEL)

《準備の都合上、平成23年1月21日（金）までにご返信願います。》

問い合わせ先

鳥取大学 産学・地域連携推進機構 TEL 0857-31-6777